

五連総会口芝ア非難決議

特別会合
141力國贊成孤立鮮明

【十一月一四一】
造】国連総会（昭十九年三月二十四日）の緊急特別総會は、日本、ウクライナに還攻したロシアを非難する決議案を日本や米欧など四国十一か国の大賛成多数で採択した。反対はロシアや北朝鮮など五カ国のみ。中國やイングランドなど二十亜九國は棄権した。民主主義国を中心とする倒的な賛成票が集まり、ロシアのプーチン大統領の専制主義的な外交姿勢に対する社会が「フー」を発表した。=関連②③⑨⑩⑪⑫⑬
面、論説6面

- ロシアのウクライナ侵攻に最も強い言葉で遺憾の意を表明
- 「特別軍事作戦」の表明や核部隊の警戒態勢引き上げを非難
- 民間人に犠牲が出ているとされるごとに重大な懸念を表明
- ロシア軍に対し即時、無条件での完全撤退を要請

米國のトーマスグリーン
フィールド国連大使は採択
後「世界はほつきのと結果
した道を上った。ロシアの
孤立は鮮明になつた」と強
調した。総決議は安全保
障理事會決議と異なり、口

ロシア非難決議案 投票の内訳 (共同)

新規登録	141 カ国
既存登録	5 カ国
ペラルーシ、北朝鮮、エリトリア、ロシア、シリ	35 カ国

アルジェリア、アンゴラ、アルメニア、バングラデッシュ、ボリビア、ブルンジ、中央アフリカ、中国、コロムビア、エクアドル、赤道ギニア、インド、イラン、イラク、カザフスタン、キルギス、ラオス、マダガスカル、マリ、モンゴル、サンビール、ナミビア、ニカラグア、パキスタン、セネガル、南アフリカ、南スーダン、スリランカ、スードン、タジキスタン、ウガンダ、タンザニア、ベトナム、ジンバブエ

意思表示なし 12カ国
アゼルバイジャン、ブルキナファソ、カムルーン、
エスワティニ（旧スワジランド）、エチオピア、ニニア、ギニアビサウ、モロッコ、トーゴ、トルクニスタン、ウズベキスタン、ベネズエラ

一方の賛成票を算めたところ、ロシア連邦綱が国連の場でも強かった。二〇一四年にロシアがウクライナ領クリミア半島を併合した際に無効を求めた総決議での賛成は百、反対は十一、棄権は五十八だ。

決議案に反対したのはペルシ、シリア、エリトリア、ロシアとは深いつながりがある。民主主義政党は単独または少数の指導者権力を握って国の重要な政策を決める「專制主義勢力」とみていい。

ジャ国連大使は採決前に「
クリーナの民族主義者が平和を破壊してこれで」「
の決議案に反対し軍事活動をやめる」とは決してこ
じり出張していった。
棄権した中国は総会演説
で「状況は見たくない地圖

「本筋がどうかは問題でない。しかし、
（アーヴィング）（アーヴィング）の
入る所で、貴成の御印確に
区別していた。



2日、国連総会の緊急特別会合で決議案を採択し拍手する出席者＝米ニューヨークで（A.P・共同）

緊急特別会合は、安保理の拒否権行使によって否決されたことを受け開かれた。総会の決議案採決では、安保理常任理事国のは使えない。会合の開催は、今回と同様の安保理要請では一九八一年のイスラエルによるガリラ高原併合問題以来、四十年ぶりとなりた。